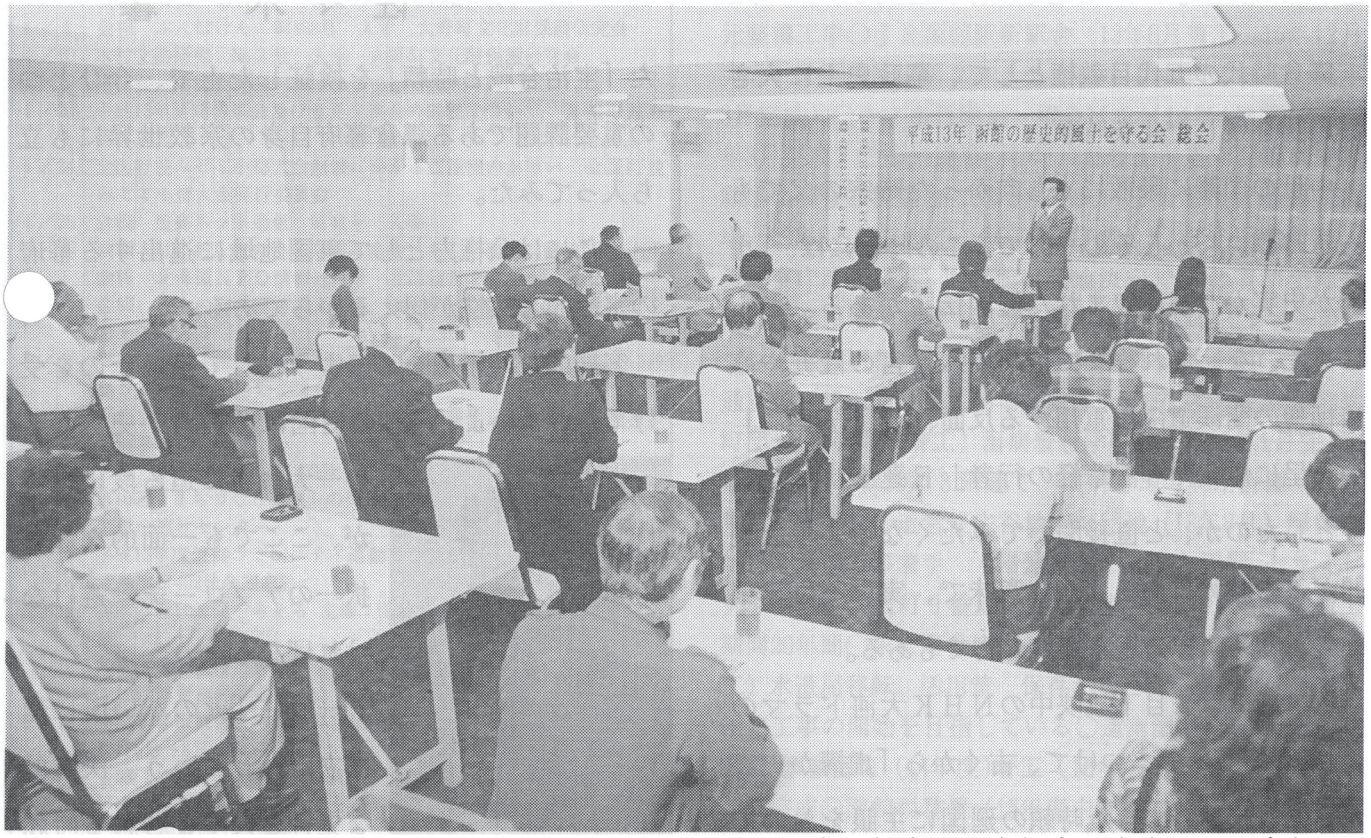
会報
69号

れきふー

函館の歴史的風土を守る会会報
No.69　H13. 10. 17
発行所　函館の歴史的風土を守る会
事務局　函館市五稜郭町43－9
五稜郭タワー株式会社（中田）
電話(0138)51－4785
印刷所　㈲三和印刷 電話 45－0845



平成13年度歴風会総会＝末広町・五島軒

「第２４回定期総会」終わる

第24回定期総会が６月１０日午後、五島軒で24人が出席して開催されました。

「この一年間は、借上げ市営住宅に関連して函館市都市景観条例の検証が審議会で審議が進められ、新たに水族館・観覧車（アクアコミュニティ構想）計画などの問題で多忙な年でした。これらの取組みで、会独自の事業について未消化の点が多かったことを申訳なく思っています」と浜島会長のあいさつ。

昨年度の事業など各種報告のあと、今年度の事業計画案では、①歴史的建造物や史跡の調査、保存・啓蒙活動　②「景観条例」の検証　③催事・その池、が審議されました。

①では、文化遺産の調査、見学で予定していたものは大体終わっているので具体的な保全手段（文化財指定・陳情等）に入る方法を考えるべき。②条例の問題点見直し、市民及び事業者の責務やデザインガイドライン等の市民への啓蒙には、市民シンポジウム開催を今後検討する。（景観審議会でガイドラインの審議が進行中だが、まだ中間発表も遅れている）③これまで行われていた子供の絵画展にかわる写真展は、今期は準備が遅れたのでもう一度、来期に開催が可能か運営委で検討し直すことなどを総会で審議されました。

【定期総会・講演】

北条時宗の父
時頼をめぐって

北海道教育大学
佐々木　馨

鎌倉時代の五代目執権として、幕政史上に大きな足跡を残した北条時頼。

中世の国難に果敢に立ち向かった時宗の父でもある時頼。しかしその一方で、この時頼には、「虚構か史実か」謎に包まれた廻国伝説がある。さらにまた、なぜあれ程までに鶴岡八幡宮の隆弁や臨済禅僧の蘭渓道隆を重用する反面、『立正安国論』の上呈に燃えた「法華経の行者」日蓮を排除しようとしたのか、と直接聞いてみたくなるような疑問がこの時頼にある。その意味で、実に不可思議でもあり、興味の尽きない人物でもある。

本講話では、目下放映中のＮＨＫ大河ドラマの「北条時宗」に引きつけて、古くから「虚構か史実か」で揺れ動いてきた時頼の廻国に主眼をおいて話題を提供したい。

時頼の廻国問題については、まず、近年、長足の進展をみせている北海道・東北史研究の成果を参観しなければならない。その上でここでは時頼伝に必要不可欠な同時代史料の『吾妻鏡』と『鎌倉遺文』さらに『日蓮遺文』から関連史料を基にして考察した拙著『執権時頼と廻国伝説』（吉川弘文館）に拠りながら、時頼の素顔を「武将」と「仏教者」の両面から窺ってみることとしたい。

なぜなら、この基礎的作業なくしては、時頼の伝説化される要因が把握できないからである。

そのアプローチとして、「時頼の家族関係」、「時頼の治世・政策」、有力御家人の三浦氏討滅を図った「宝治合戦と時頼」を検証した上で、今ひとつの重要課題である鎌倉幕府自身の宗教世界にも立ち入ってみた。

そこには公権力として東国地域に進出する幕府の宗教的必然性が伺えるからである。

客観的な時頼像をこのようにして描いたのを受けて、いよいよ、時頼の廻国は「虚構か史実か」

の一大命題に迫る段になるが、ここでも一面的な二者択一のアプローチは避けなければならない。

一般に「火のない所に煙は立たぬ」という。決定的な史料を欠くとされる時頼の廻国問題は、やはり徹底した傍証の積み重ねが寛容である。それゆえ、ここでは時頼自身の東国観にメスを入れ、併せて時頼を誘う東国社会の状況を探り、もって、時頼の東国廻国の前提とした。

次いでこの時頼を待つ東国に、本当に史実として時頼は旅立ったのか、四つの史料的根拠によりながら検証、その結果、時頼の東国廻国は限りなく史実に近いこと、およびこの東国への旅立ちは宗教的な改宗を伴う「仏教の旅」であったことを結論した。

それは近世、水戸黄門の漫遊が「政治の旅」であるのと、好対象をなす。時頼こそ、私たち日本人にとって「中世の黄門様」であった。

2001年（平成13年度）会務報告

平成13年10年10日現在

日　時	内　　容
4／1	会報（財）あしたの日本を創る協会　あした通信　第170号　入手
4／	函館の近代産業遺産を考えるシンポジュウム　後援依頼　函館近代産業遺産研究会
4／	函館産業遺産研究会シンポジュウム（函館の近代産業遺産を考える）5月12日「ホテル函館山」13:30～　要塞見学 13日9:00～
4／	会報　有松　第44号　有松まちづくりの会　入手
4／4	会報　ぶんぽけん　第103号　入手　大野町文化財保護研究会
4／10	木村文助研究　№３号　入手　大野町文化財保護研究会
4／19	第９回　運営委員会　五稜郭タワー　6:30～
4／20	平成13年夏期幹事会及び意見交換会の開催について　全国町並み保存連盟
4／24	全国町並みゼミ小樽大会開催にかかるご後援のお願い　全国町並みゼミ小樽大会実行委員会
4／25	会報　豊島ネット通信　第41号　入手
5／1	会報（財）あしたの日本を創る協会　あした通信　第171号　入手
	会報　北海道ＮＰＯ情報11月号　北海道ＮＰＯサポートセンター
	会報　土木の文化財を考える会　第4号　入手　土木の文化財を考える会
5／2	平成13年度「ふるさとづくり賞」の実施について　提出限6／12渡島コミュニティ運動委員会
	平成13年度地域政策補助金（ソフト系事業分）に係る要望事項の事前募集について
5／8	会報　ぶんぽけん　第103号　入手　大野町文化財保護研究会
5／10	第10回「まちづくり講座」の開催について　6／8　14:00 函館勤労者総合福祉センター
5／11	平成13年度渡島コミュニテイ運動委員会総会 6／8　13:00～15:00 渡島支庁402号会議室
5／12	函館の近代遺産を考える 主催：函館産業遺産研究会・北海道産業
13	考古学会の後援　シンポジュウム 5／12 13:30～16:30 函館山ホテル・函館要塞見学会 5／13　9:00～
5／16	開港５都市景観まちづくり会議 長崎大会開催記録入手 平成12年10月6日～8日
6／1	会報「でんけん」第８号　入手　函館市伝統的建造物群保存会
6／	平成13年度箱館奉行所復元促進期成会定期総会の開催案内 7／23 13:30～函館商工会議所
6／10	平成13年度歴風会　定期総会　6／10　4:00 総会 5:00 講演会 6:00 懇親会
	講演 北条時宗の父「北条時頼」をめぐって　北海道教育大学教授 佐々本馨氏
	会報　きーすとーん　第24号　入手　札幌建築鑑賞会
14	平成13年度「推進地域支援事業補助金申請団体」の応募について 渡島コミュニティ運動委員会
6／10	会報（財）あしたの日本を創る協会　あした通信　第172号　入手
6／20	会報　豊島ネット通信　第42号　豊島は私たちの問題ネットワーク事務局　入手
6／29	会報　渡島コミュニティ　第58号　入手
6／30	会報　文化情報　第231号　入手
7／10	会報　あした通信　第173号（財）あしたの日本を創る協会入手
	会報　北海道ＮＰＯ情報 7月号　　北海道ＮＰＯサポートセンター
	会報　町並み通信　鯖街道　熊川宿 第4号　若狭熊川宿まちづくり特別委員会
	会報　ぶんぽけん　第106号　入手　大野町文化財保護研究会
7／10	地域づくり実践カレッジin棚倉の開催について　H13年8月22／23 福島県棚倉町
7／	自治会・町内会情報誌　まちむら　74（財）あしたの日本を創る協会
7／	北海道ふるさとＣＭ大賞募集案内 12／22締切り　北海道ふるさとＣＭ大賞推進委員会
7／23	男女平等参画の視点から見た民間活動団体の地域づくりに関する実態調査　北海道立女性プラザ
7／25	会報　豊島ネット通信　第43号　豊島は私たちの問題ネットワーク事務局　入手

☆参考・行政の主な事業計画一覧☆

○市まちづくり３ヵ年計画（13～15年度）○市総合計画（8～17年度）○歴史的環境整備地区街路事業（2～15年度）○五稜郭公園再整備（13年度）歴史公園の整備○五稜郭函館奉行所復元（13～16年度）文化庁との協議、許認可。基本設計、実施設計（17～20年度）奉行所庁舎復元整備工事（13～21年度）奉行所庁舎オープン。土蔵・板庫復元整備工事○ＪＲ函館駅新駅舎（13年8月着工　15年12月完成）○函館空港新ターミナルビル（14年4月着工　18年3月完成）○十字街再開発　複合ビル（14年4月着工　15年3月完成）○湯川漁港（13年11月着工・道立函館水産試験場に隣接、展望台 18年3月完成）○函館市営函館競輪場（13年8月29日着工　14年7月完成）○市立保健所跡・渡島支庁跡（14年）図書館建設地決定で市と道が土地交換へ○健康増進施設（15年）函館市総合保健センターオープンと保健所移（13年度）簡易保険福祉事業団○八幡坂通整備（13年度着工　15年度完成）○道営住宅第２弥生町団地（14年1月着工）函病看護学院跡地（15年1月完成）景観配慮　６棟30戸３階建て　函病跡地の利用計画（歴史集積ゾーン）○道営住宅谷地頭町団地（13年8月）解体開始11月新築工事着手　４階建てから２階と平屋 セラミックブロック○大町９番地区借上市営住宅（12年度）偕上期間20年間○末広町分庁舎（13年10月着工　１４年９月竣工）水道局移転、活用策　保存活用・平成15年度改修・補修工事の開始を目指している○道南圏道立広域公園（10年）事業認可（14年度)着工（16年）一部オープン（17年）完成○函館税務署（15年度中）完成・旧松川中学跡地○函館新外環状道路（6年12月）地域高規格道路の「候補路線」に指定（10年6月）「計画路線」に指定（10年10月）「調査区間」に指定（12年）函館IH～函館空港10km「整備区間」に昇格○北海道縦貫自動車道（13年度）大沼IH～七飯IH89.1km設計協議に着手　長万部～国縫13年度内に開通○文書館の設置検討（13年4月）○空き店舗対策（10年）ＴＭＯ（タウン・マネジメント）設立○函館市中高層建築物指導要綱（14年度）新年度の条例化を目指す、西部地区歴史的景観地域のデザインガイドライン見直し○パブリックアート設置事業（11年度）10年間、平成11年から５年間を前期、引き続き５年間を後期　平成11年・シーポート前広場、棒二森屋Ｂ館前、ＢＡＹはこだて横

平成12年度・ダイエー五稜郭店前○函館山要塞（14年度）「緑の基本計画」函館山要塞を文化遺産ゾーンとして検討、事業計画５年間○若松南地区埋立地（13年度）大手町22　民間に売却2821／3996／1929平方メートル○総合博物館と領事館村（12年8月）函館病院跡地利用計画　歴史集積ゾーン○消波ブロック撤去（14年秋）啄木小公園の前浜

『ホワイトハウス（旧宣教師館）』＝遺愛学院

文化審議会は四月二十日、旧遺愛女学校宣教師館を重要文化財に指定するよう文部科学相に答申。六月十五日指定されました。九十年以上前の建築です。少女時代を思い出す懐かしの風景で、昨年三月、習いたての絵筆を握りました。（小熊咲子）

運営委員会から

運営委員会は、総会の決議を受けて、会員の声を反映するための「アンケート」を実施させていただきました。集約の結果は、運営委で討議して今後の運営に役立てます。

なお、アンケートの結果は、次号の会報で報告いたします。

昨年度、運営委内に「未来を考える」部会を設置しましたが、同部会を今年度も継続することになりました。昨年は、函館市の借上げ市営住宅問題（景観条例はまだ審議中）に時間をとられ会の事業に影響をもたらしました。同部会などが主体になって、条例や市のプロジェクト（アクアコミュニティ構想、函病跡地の博物館村）など多岐にわたる計画について、会員による会員のための勉強会を下記の予定で開催します。コーディネーターは、会員の６人です。参加して遠慮なく意見をのべて下さい。

「函館の未来を考える」シンポジュウム

【日時】 １０月２０日　13時30分～16時

【場所】 道立函館美術館会議室

「函館の歴史を知る会」開催

【日時】 11月11日（日）　12時30分～14時30分

【会場】 レストラン金森亭　TEL27－7878

【テーマ】「昭和９年の大火と２０年の空襲」

【講師】 村山捨儀（郷土史研究家）

※会場は20～30人ぐらいの予定です。なお、飲み物代500円を負担してください。

編集後記

◇一ヶ月以上も遅れた会報の発行をお詫びいたします。後任の編集者がいまだ決まらず、苦慮しています。田尻、落合さんご苦労様でした。

◇11月11日の勉強会は千葉さんに企画していただきました。このほど称名寺に、空襲による戦没者の慰霊碑が建立されましたが「函館空襲」はあまり具体的に知りません。語り継ぐ事柄と思います。

◇八面六臂（ぴ）の活躍が運営委で話題になっている小熊咲子さん（χ才）の水彩画を掲載させて貰いました。（カラーでなくてごめんなさい）ちなみにボランティアや各種市民団体、仏語、絵画教室など日中は留守電ばかりと、陰口も？

◇行政は、情報を公開して市民の声を聞くようになれば会の運動がやり易いのだが……（U）